

英語科学習指導案（3年4組）

令和3年5月20日（木曜日）11:40～12:30 3の4教室

1 単元 Good Night. Sleep Tight. (PROGRAM 2 Sunshine English Course 3)

2 単元の目標

睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために一番有効だと思う解決方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確に示しながら、意見を述べ合うことができる。

3 単元設定の理由

(1) 教材観

①単元の価値

本単元は、睡眠不足を解決する方法やよりよい睡眠を得るための方法について、データや資料を基に、根拠を明確にしながら意見を述べ合う力を高めていくものである。本単元の新出言語材料は、間接疑問文や主語＋動詞＋間接目的語＋that で始まる節であり、これまで複数の文で表現していた内容を一文で伝えることができる。そのため、睡眠不足の解消のために有効な方法についてデータや資料から分かったことや経験したことを簡潔に表すことができる。また、睡眠不足を解消するための方法について意見を述べ合う活動では、データや資料、経験等を基に説得力のある意見を伝えるよりよい方法を考えたり、相手の意見を聞いて別の意見や批判的な意見を伝えたりする必要があるため、思考を深め即興的に意見をやり取りする力を養うことができる。さらに、「睡眠不足を解消し、よりよい生活を送るために一番有効だと思う解決方法について伝え、相手を納得させる」という目的において、「データや資料、これまでの経験を基に、根拠を示しながら意見を述べ合う」場面は、「自分の考える一番よい睡眠不足解消の方法を伝え、相手を納得させたい。友達の伝え方を参考に、自分の伝え方をより説得力のあるものにしたい」という必要感のある状況につながるため、データや資料、経験等を基に根拠を明確に示しながら、主体的に意見を述べ合おうとする態度を養うことができる。

②単元の系統性

- ・2年生では、世界の多くの国で行われている慈善活動について書かれた文章を読んで考えを述べ合う活動を通して主語＋動詞＋that で始まる節を身に付け、自分の思いや考えを伝える技能を養ってきた。
- ・Steps 1「ディベートをしよう」では、与えられたテーマに対して、相手の主張を理解したり、賛成・反対の理由を示したりしながら、ディベートをする技能を身に付けてきた。Steps 5では、「ディスカッションをしよう」に取り組み、与えられたテーマに対して、自分の意見を述べ合い、テーマに対する新しい見方を得たり、自分の考えを広げたりする技能を身に付けていく。

(2) 生徒観（男子17名、女子17名 計34名）

- ・知識・技能については、身に付けた語句や文法の知識をもとに、聞いたり読んだりして大まかな内容を理解できる生徒が多い。一方で、自分の言いたいことを、即興的に話すことに課題をもつ生徒が見られる。これは、言いたいことを話すために身に付けた語句や文法を活用して、即興的に話す技能が不足していることが原因である。
- ・思考・判断・表現については、目的・場面・状況等に応じてやり取りをしたり発表したりできる生徒が多い。一方で、相手の発話や意見に対して反応や質問、意見の付け加えをしながら会話を続けたり発展させたりすることができず、数回のやり取りで会話を止めてしまう生徒が多い。これは、会話を続けるために必要なコミュニケーションスキルや話し手聞き手双方の相手意識が育成されていないことが原因である。

(3) 指導観

- ・単元計画における「つかむ」の過程では、言語活動の目的・場面・状況等を明確に示すとともに、Can-do Listを用いて、単元の学習の大まかな見通しをもたせることで、主体的に学習に取り組めるようにする。
- ・帯活動では、事前に宿題として配布された「睡眠不足を解消する方法に対する意見文例」を読み、それに対する賛否を述べ合う活動を行う。賛否を述べ合う活動をした後に、意見文例に書かれた表現のうち共感できる考えに印を付け、「ロイロノート（デジタルシンキングツール）」に蓄積する活動を継続して行うことで、様々な表現を身に付け活用しながら、即興的に意見を話すことができるようにする。

- ・意見を述べ合う活動を行う際には、相手の発話や意見に対して反応・質問・意見の付け加えをしながら会話を続けたり発展させたりするような、会話のモデルを示す。また、会話を続けたり発展させたりできている生徒の様子を紹介し、よい点を具体的に賞賛することで、会話を続けるために必要なコミュニケーションスキルや話し手聞き手双方の相手意識を養えるようにする。

4 指導と評価の計画 英語科 3年 Program 2 Good Night. Good Sleep. (全8時間計画)

目標	睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために一番有効だと思う解決方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確に示しながら、意見を述べ合うことができる。					
評価 規 準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度			
	① 間接疑問文や主語＋動詞＋人＋that ～. の使用場面・用法を理解している。 ② 間接疑問文や主語＋動詞＋人＋that ～. を正確に用いながら、睡眠不足解消のために有効な方法や資料やデータから分かったことなどについて話すことができる。	睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、データや資料をもとに賛否の理由を明確に示しながら、意見を述べ合うことができる。	睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、データや資料をもとに賛否の理由を明確に示しながら、意見を述べ合おうとしている。			
過程	時間	◎目標・課題	○学習活動	重点	記録	備考
つか か む	1 (本 時)	◎「睡眠不足を解消し、よりよい生活を送るために、有効な解決策について意見を述べ合う」という単元の課題をつかみ、課題を解決するための個人目標を設定することができる。 睡眠不足を解消するための有効な方法について意見を述べられるようになることを目指して、単元の目標を設定しよう。	○単元の活動の目的・場面・状況等を知り、ペアで意見を述べ合う活動に取り組む。 (試しの活動) ○Can-do Listを使って、言語面と内容面についての単元の個人目標を設定する。	態		
単元の課題：睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために一番有効だと思う解決方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確に示しながら、意見を述べ合おう。						
追 究 す る	1	◎教科書本文の内容を理解し、「1日に最低でも6時間は睡眠をとる必要がある」という教科書の登場人物の意見を基に、どうしたら1日6時間以上の睡眠を取れるかについて意見を述べ合うことができる。 1日最低6時間以上の睡眠を取るためには、どうしたらよいだろうか。	○間接疑問文の意味・用法を理解し、ペアで会話を行う。 ○教科書本文を読み、内容を理解する。 ○1日6時間以上の睡眠を取るための方法について意見を述べ合う。	知 思		

	1	◎教科書本文の内容を理解し、「睡眠の90分前に風呂に入るべき」という教科書の登場人物の提案に対する意見を述べ合う。 「睡眠の90分前に風呂に入るべき」という提案に対する考えを述べ合おう。	○主語＋動詞＋人＋that～.の意味・用法を理解し、教科書本文の内容を把握する。 ○教科書本文を読み、内容を理解する。 ○「睡眠の90分前に風呂に入るべき」という提案について意見を述べ合う。	知 思	
	1	◎教科書本文の内容を理解し、「寝る前にスマホを見るべきではない」という本文の提案に対する意見を述べ合う。 「寝る前にスマホを使うべきではない」という提案に対する考えを述べ合おう。	○主語＋動詞＋人＋that～.の意味・用法を理解し、教科書本文の内容を把握する。 ○教科書本文を読み、内容を理解する。 ○「寝る前にスマホを使うべきではない」という提案について意見を述べ合う。	知 思	
	1	◎睡眠不足を解消するために有効な方法についてやり取りをし、意見を述べる際に必要となる情報を増やすことができる。 睡眠不足を解消するために有効な方法について、やり取りをし、意見を述べる際に必要となる情報を増やそう。	○睡眠不足を解消するために有効な方法について、ペアまたは3人グループでやり取りをする。 ○意見を述べる際に必要な情報を、「ロイロノート（デジタルシンキングツール）」にメモする。	思	
	1	◎睡眠不足を解消するために有効な方法について述べて相手を納得させるために、「ロイロノート」上に資料やデータ、経験等をまとめて工夫しながら意見を述べようとしている。 自分の考え睡眠不足を解消するための方法がより相手に伝わるだろうか。	○睡眠不足を解消するために有効な方法について述べて相手を納得させるために、「ロイロノート（デジタルシンキングツール）」を活用して、データや資料、経験等をまとめる。 ○ペアで意見を述べ合う。	態 ○	態：行動分析 ・「ロイロノート」上に資料やデータ、経験等をまとめ、工夫しながら意見を述べようとしている。
まとめる	1	◎睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、根拠を明確に示しながら、意見を述べ合うことができる。 睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、根拠を明確に示しながら、意見を述べ合おう。	○睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、データや資料をもとに賛否の理由を明確に示しながら、意見を述べ合う。	思 ○	思：行動分析 ・睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために、一番有効だと思う解決策について、データや資料を元に賛否の理由を明確に示しながら、意見を述べ合っている。
	1	◎文章構成アプリを活用して文法上の誤りを修正しながら、正しい表現を用いて睡眠不足を解消するための方法について意見文を書くことができる。 睡眠不足を解消するために有効な方法について、正確な表現を用いて意見文を書こう。	○意見文を書く。 ○書いた文章をお互いに読み合い、文法上の誤りを訂正する。 ○文章構成アプリを活用して、文法上の誤りを訂正する。	知 ○	知：記述分析 ・文章構成アプリによって指摘された文法上の誤りを正しく修正しながら、意見文を書くことができる。

5 本時の展開 (1/8)

(1) 目標 「睡眠不足を解消し、よりよい生活を送るための方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確にしながら意見を述べ合う」という単元の課題をつかみ、課題を解決するための個人目標を設定することができる。

(2) 展開

学習活動と予想される生徒の反応	指導上の留意点及び支援・評価
<p>1 ウォームアップをする。 ○ペアで会話を行う。</p> <p>2 単元の課題をつかむ。 ○教師や友達とやり取りをしながら、単元の課題をつかむ。 ・睡眠不足が原因で、授業中に眠くなってしまうことが多いな。 ・睡眠不足を解決すれば、勉強にもっと集中できるな。</p>	<p>○How long did you sleep last night?やDid you sleep well?といった、単元の課題と関連したテーマを与えて会話を行わせることで、単元の課題に対する関心を高められるようにする。</p> <p>○「OECDによる各国睡眠時間比較データ」や3年生を対象に行った睡眠に関するアンケートの結果を使いながら、睡眠不足の原因やその影響などについて生徒とやり取りをすることで、本単元のコミュニケーション活動の概要を理解させる。</p> <p>○睡眠不足を解消することによるよい影響について考えさせ、睡眠不足を解消したいという意欲づけを行う。</p>
<p>単元の課題：睡眠不足を解消し、よりよい生活を送っていくために一番有効だと思う解決方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確に示しながら、意見を述べ合おう。</p>	
<p>3 本時の課題をつかむ。</p>	<p>本時の課題：睡眠不足を解消するための有効な方法について、「相手を納得させる」ような意見を述べられるようになることを目指して、単元の目標を設定しよう。</p>
<p>4 睡眠不足を解消するための有効な方法について、意見を述べ合う。(試しの活動) ○「ロイロノート」を通して配布された睡眠不足を解消するための方法例から、一番有効だと思うものを選択し、理由を考える。 ○ペアで意見を伝え合う。 ・It's good for me to have a nap time because I'm sleepy after lunch. ・It's good for us to do exercise because we can relax.</p> <p>5 単元の個人目標の設定・本時のまとめ・振り返りをする ○単元の課題を解決するための個人目標について考える。 ○教師のモデルを参考に、「相手を納得させるため」に身に付けたい意見を述べる力について考える。 ○Can-do Listに内容面における単元の個人目標を設定し、記入する。 ・相手を納得させるには、どんな伝え方をしたらよいだらう。 ・自分の意見に説得力をもたせ、「相手を納得させる」ためには、データや資料を基に、根拠を明確にしながら意見を伝えるべきだな。</p>	<p>○試しの活動に取り組みさせることで、単元の課題を解決するために必要となる知識や意見の伝え方の工夫等について考えさせる。</p> <p>○「ロイロノート (デジタルシンキングツール)」を活用し、自分の考えについてメモを取らせることで、意見を述べる際に参考にできるようにする。</p> <p>○ペアを交換し3回活動を行わせる。その際、活動間で意見を述べる際の根拠を例として挙げたり、意見に理由を加えながら話している生徒の意見を紹介したりすることで、2、3回目の活動で生かせるようにする。</p> <p>○試しの活動における自身の活動の様子を振り返らせることで、単元の課題を解決するための個人目標を設定できるようにする。</p> <p>○データや資料、経験等を活用しないで意見を述べるモデルと活用して意見を述べるモデルを示しどちらの方が説得力があるかを比較させることで、「相手を納得させるため」という目的を意識しながら個人目標を設定できるようにする。</p> <p style="text-align: center;">【主体的に学習に取り組む態度】 「睡眠不足を解消し、よりよい生活を送るための方法について伝え、相手を納得させるために根拠を明確にしながら意見を述べ合う」という単元の課題をつかみ、課題を解決するための個人目標を設定することができる。 (Can-do List への記述)</p>
<p><まとめ・振り返り> ・睡眠不足を解消するために一番有効だと思う方法について伝え相手を納得させられるように、データや資料を基にして賛否の理由を伝えられるようになりたい。</p>	
<p><「学びの質」を高めるための具体的な手立て> デジタルシンキングツールを活用した、表現内容と修正の過程の視覚化</p>	